



藤田 まこと

No 34号 議会だより

二〇一九年四月号

発行者 藤田 まこと
事務所 青森市中央1-22-5
青森市議会
市民の声あおもり控室
TEL 017-734-5694
FAX 017-722-8902

平成31年度一般会計当初予算 決まる

地域の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

副議長として、忙しく議員活動をさせていただいております。議会だより「新春号」では、場所により2月末に配布になったところもあり、皆様にご迷惑をおかけいたしました。

今後は定例会終了後速やかに、議会での議論経過についてお知らせできるよう、引き続き努力させていただきますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成最後の議会も山崎議員の盗聴疑惑問題で混乱しましたが無事、平成31年度一般会計当初予算も決まりました。

主な新規事業を掲載しましたので、お読みください。

※なお、副議長は一般質問ができませんので、ご理解下さい



平成31年度・主な新規事業

母子健康包括支援センター整備・開設事業

69,916千円

安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供する、いわゆる青森市型ネウボラの拠点として、「(仮称)青森市母子健康包括支援センター」を元気プラザ内に整備・開設します。

本センターでは、「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」の相談窓口の一本化とワンストップ化を図り、妊娠期から出産、乳幼児期、子育て期に至るまでの一連の過程をよりタイムリーに総合的に支援するとともに、親子の遊び場や交流の場、子育て相談や情報提供の場として「プレイルーム」を新設します。

また、保健師、看護師、保育士、社会福祉士等に加え、新たに、助産師、栄養士、臨床心理士等の専門職も配置し、多職種の専門職がチームとなって相談に応じ、包括的に支援していきます。
【供用開始】平成32年4月

青森市民病院・産科病室改修事業

11,016千円

プライバシーに配慮した快適な入院生活を送っていただくため、現在カーテンで仕切られている6・4人部屋の産科病室をパネル等で仕切り準個室化するとともに、2人部屋を個室化するための改修を行います。

- ・ 6人部屋を4人部屋とし準個室化(1室)
- ・ 4人部屋を準個室化(2室)
- ・ 2人部屋を個室化(2室)

青森市民病院・快適な出産環境創出事業

959千円

妊婦の心と身体を健康にするために、助産師による健康教室の開催をするなど、助産師外来を強化します。また、現在行っていない「お祝い膳」「胎児超音波画像」の提供を行うとともに、取組をホームページ、広報あおもり等で発信します。

小中学校のトイレ改修事業が始まり平成31年度中に小学校10校 中学校8校で行われ、今後、2023年度までに洋式化率を50%目指す。

沖館中学校は今年度に工事が行われます。

質問：マイナンバーカードについて

要旨：マイナンバーカードの交付状況及び今後の交付促進の取組について

答弁：マイナンバーカードの交付件数は、

平成31年2月末現在、人口比で12.2パーセント、34,798件となっている。

今後の交付促進の取組については、平成30年3月から国が運営するオンラインサービスであるマイナポータルを活用し、児童手当に関する手続や、保育所等の利用に関する手続、妊娠の届出に関する電子申請の受付を実施するとともに、平成32年2月には、全国のコンビニエンスストア等で各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスがスタートする予定である。

また、国においても、平成16年度から利用が開始されたオンラインサービス e-Tax により、インターネット上での確定申告が可能となっているほか、現在、様々なサービスの拡充が検討されているところ。今後も機を捉えて普及に向けたPRを関係課とともに実施していく。



青森市議会・前副議長「齋藤 のりお」さんと対談

「齋藤 のりお」さんは 議員活動において、これまで助言を頂いてきた先輩にあたります。これまでの青森市議会議員20年間勤められた経験や、特に副議長在職時の議員活動について、今後の参考にしたいと、「齋藤 のりお」さんと対談し、引き続きの支援をお願いしました。

藤田 まこと

私はまだ、3期目に入ったばかりで、未だ試行錯誤していますが、この20年間で振り返って、議員として何に力を入れてきましたか。

齋藤 のりお

やっぱり、目の前の地域の市民の皆さんが抱える課題解決に取り組むのが、議員活動の原点だと思います。特に水害解消に向けての地域の皆さんと連携し、富田ポンプ場を4月から稼働させることができた事が一番印象に残っています。また子供たちの安心安全のための歩行者のための橋やロードミラーの設置等、町会の役員と連携しながら課題解消に向けて取り組んできましたので「藤田 まこと」さんにも、地域住民や町会役員の皆さんと連携して、地域の課題解消に向け取組んで欲しいです。

藤田 まこと

今、富田ポンプ場の話が出ましたが、青森市に計画をさせるのに大変だったでしょう？

齋藤 のりお

水害が発生する頻度が低いことから、青森市に水害対策の必要性を訴えるのは大変難しい課題でしたが、地域の町会役員と連携して取り組んだきたので、そんなに苦労とは感じませんでした。

藤田 まこと

ところで、沖館・富田地区は、これまで流雪溝が設置できない地域と言われてきましたが、「齋藤 のりお」さん在职中から、お互いに流雪溝が設置できないか、しつこく質問してきました。再調査の結果、沖館と富田の一部に流雪溝を設置できると計画に盛り込まれましたが、この事については、どうですか。

齋藤 のりお

平成28年10月の青森市雪対策基本計画に可能区域として沖館と富田の一部ですが、盛り込まれましたが、未だ佃地区が半分も完成していない事や篠田地区がようやく現地調査に入った段階です。沖館・富田地区の計画を現実にするのは、まだまだ先にことになると思うので、今後お互い町会活動を含め連携協力して頑張りましょう。

最後に、今後も「齋藤のりお」と「藤田まこと」は地域活動を共に連携をして、沖館・富田・篠田・千刈地区の環境改善に取り組んで頂くことを確認し終了しました。



質問：除排雪について

要旨①：除排雪車運行管理システムの概要について

答弁：本市では、平成29年2月から現行の青森市除排雪車運行管理システムを導入している。
当該システムでは、①除雪情報の公開機能 ②除雪業務機能 ③雪捨て場管理機能を有する。

1つ目の、「除雪情報の公開機能」については、GPS端末から取得した除雪車の位置情報を地図上に展開する機能であり、青森地区の幹線及び補助幹線91路線に導入し、平成29年度からは国、県の協力をいただき、試行的に国道、県道についての除雪情報も青森市ホームページにおいて公開している。

2つ目の「除雪業務機能」については、GPS端末に記録した位置と稼働時間を集計し、委託料の算出や作業日報の作成などを行う機能として、同じく幹線及び補助幹線91路線に導入し、委託料算出や作業完了路線を把握するまでの時間が短縮されるなど、除排雪作業管理の効率化に効果があり、今冬においても、委託業者へ説明会を行い運用しているが、市として、システム上から出力される日報と現在のタコグラフのチャート紙との整合性を検証しながら、業務の効率化に向け取り組んでいくこととしている。

3つ目の「雪捨て場管理機能」については、除排雪事業者が排雪の際に使用する雪捨て場の情報を管理する機能であり、事務作業の軽減とともに夜間の除排雪作業に向けた準備体制の迅速化を図っている

要旨②：空き地の排雪要望に対する市の支援について

(市民の皆さんが自主的にママさんダンプで雪を捨てている場所や市民雪寄せ場が一杯になったら排雪して欲しいと思い聞きました。)

答弁：市では、官民一体型の雪対策を推進するため、市民雪寄せ場等の空き地の排雪に対する支援として、青森市スクラム排雪事業を実施している。

当該事業は、原則として町会及びその他の団体が、地域内の市民雪寄せ場等の雪を業者委託によって自主的に運搬排雪する場合を対象に、市がその費用を一部助成する制度であり、補助率については、積雪深が1メートル未満の通常時は4分の1、積雪深が1メートルを超えた豪雪時は4分の2、積雪深が1メートル50センチを超えた豪雪災害時には4分の3となっている。

また、今冬においては、2月15日の豪雪対策本部設置に伴い、市民雪寄せ場の対応を強化することとしたことから、地域要望があった38か所の市民雪寄せ場について排雪作業を行った。市としては、引き続き地域における自主的・主体的な雪処理に対し支援を行っていく。

質問：マイナンバーカードについて

要旨：病気や障がいなど、マイナンバーカードの窓口での受取が難しい方への対応について

答弁：マイナンバーカードの交付手続の基本的な流れ

○郵便、パソコン又はスマートフォンで、もしくは、市民課・浪岡事務所市民課の窓口において、タブレット端末を用いて顔写真を撮ってもらうなどの職員の支援を受け申請。

○国の機関からマイナンバーカードが市に届き次第、御案内のハガキが申請者に届く。

○原則、申請者本人が本人確認書類等を御持参の上、市民課又は浪岡事務所市民課の窓口で交付を受ける、こととなる。

また、あらかじめ御予約をいただいた場合は、お近くの支所・情報コーナーにおいても、交付を受けることが可能となっている。

病気や障がいなどで、マイナンバーカードの受取に窓口へ出向くことが難しい方への対応としては、代理人がマイナンバーカードを受け取ることも可能となっている。

その際の手続方法としては、申請者と代理人の本人確認書類等のほか、診断書、障がい者手帳、病院や施設に入所している事実を証する書類など申請者が窓口へ出向くことが難しいことが分かる書類を提出していただくこととしている。

マイナンバーカードの交付については、市ホームページで、申請者が病気や障がいなど、窓口に出向くことが難しい場合の代理人による手続方法を掲載した上で、御不明な場合は、市民課又は浪岡事務所市民課へご相談いただくこととしている。

その他の質問 防犯カメラについて・窓口サービスについて・就学援助制度について

青森市営バス・冬タイヤの導入	2,271千円
----------------	---------

雪国としての地域特性を踏まえ、冬期間(12月～3月)を対象に「冬タイヤ」を導入し、増便による利用者ニーズへの対応や所要時間の見直し、定時性の向上を図ります。

青森市営バス路線・系統の簡素化	1,110千円
-----------------	---------

平成32年3月のダイヤ改正にあわせて、運行ルートが分かりやすいように路線名を変更し簡素化するとともに、路線名の記号等による表記の導入などにより、バス利用者の利便性の向上を図ります。

コンビニ交付システム等整備事業	59,548千円
-----------------	----------

マイナンバーカードを使用することにより、全国のコンビニエンスストア等で各種証明書を取得できるコンビニ交付サービスを提供します。

県内で初めて「交付可能な全ての証明書」を対象とします。

[サービス対象証明書]

- ・住民票の写し ・印鑑登録証明書 ・各種税証明書
- ・戸籍証明書(全部・個人事項証明書) ・戸籍の附票の写し

【サービス開始時期、提供時間】 ・平成32年2月予定 ・6:30～23:00

青森操車場跡地周辺整備推進事業	4,016,492千円
-----------------	-------------

青森操車場跡地利用計画審議会からの答申をはじめ、「青森市アリーナプロジェクト」の実施などを踏まえた青森操車場跡地利用計画に基づき、操車場跡地の利活用を進める。

【取組内容】用地取得、測量、設計等(社会資本整備総合交付金や青森市次世代健康・スポーツ振興基金を活用)

むつ湾広域連携事業	1,468千円
-----------	---------

陸奥湾沿岸8市町村などによる官民連携の協議会において、産業及び観光の振興に連携して取り組み、主に台湾をメインターゲットとした冬季の観光コンテンツ造成に取り組みます。

急病センター整備・移転事業	139,726千円
---------------	-----------

急病センターの第三庁舎への移転に係る改修工事や医療機器・備品等の整備を行います。

- ・平成31年6月～9月 第三庁舎改修工事 ・平成31年10月以降 移転・診療開始

【主な改修内容】 ・診療室を2室から3室に増室

- ・待合室を拡大(35.55㎡→70.22㎡)※面積は現時点での見込み
- ・感染系患者の待合室新設

その他の新規事業

・リノベーションまちづくり推進事業【新規】	10,000千円
・スマート農業普及対策事業【新規】	259千円
・ため池整備事業(県営事業負担金)【新規】	3,636千円
・コミュニティ・スクール推進体制構築事業【新規】	815千円
・第80回国民スポーツ大会開催準備事務【新規】	119千円
・AOMORIトリエンナーレ2020開催事業【新規】	4,537千円
・青森市移住促進事業【新規】	3,000千円
・経営分析システム導入事業【新規】	2,943千円
・急病センター整備・移転事業	39,726千円
・ヘルステックを核とした健康まちづくりプロジェクト【新規】	321千円
・新町一丁目地区優良建築物等整備事業(補助金)【新規】	349,000千円
・中新町山手地区第一種市街地再開発事業(補助金)【新規】	209,800千円
・路面下空洞調査事業【新規】	4,834千円
・光コンテンツ造成事業	23,499千円